

まずは40分の一本勝負！

調布市せんがわ劇場は平成20年に開館した調布市の公共劇場です。「市民・地域の文化が育まれ、まちの誇りとなる劇場」をめざし、「4つの使命」を定め、様々な自主制作事業を行っています。

もたちや舞台芸術活動者を育成する」という使命の中核を担う企画が、せんがわ劇場演劇コンクールです。単に作品の優劣を競うものではなく、せんがわ劇場における舞台芸術活動者の育成支援の出発点として位置付けています。

- 応募資格** 舞台芸術活動をしている団体。過去2年以内、または過去3回以上の上演実績があること。
- 上演作品** オリジナルの上演台本があること。過去に上演した作品、原作からのオリジナル作品可。
- 上演時間** 40分
- 審査員** 熊井玲（「ステージナタリー」編集長） 佐川大輔（演出家・俳優／THEATER MOMENTS主宰）
土田英生（劇作家・演出家・俳優／MONO代表） 常田景子（翻訳家） 野上絹代（振付家・演出家・俳優／FAIFAI所属・三月企画主宰）※五十音順
- アドバイザー** 徳永京子（演劇ジャーナリスト）
- 賞**
 - 👑 **グランプリ** 2019/5/6(月)～12(日)の1週間劇場ホール使用無料権を贈呈
 - 👑 **オーディエンス賞** 2019/4/19(金)～21(日)の3日間劇場ホール使用権を贈呈
 - 👑 **個人賞** [演出家賞・劇作家賞・俳優賞]

※詳細は劇場ホームページにて必ずご確認ください。

スケジュール 参加必須の日程(※)があります。

- 応募** 2/2(金)～3/2(金)19:00まで必着
- 第一次審査** 4月中旬 ●ファイナリスト6団体決定!
- 説明会 & 交流会** ※5/6(日) 14:30～ 参加必須
 - 上演ルール・舞台機構・制作面等の重要事項の説明
 - 団体代表者1名以上の参加必須
- 最終打ち合わせ** ※7/2(月)13:00～ 参加必須
 - 舞台監督&照明担当者の参加必須
- 本選** ※ 7/9(月)～13(金)うち1日テクリハ 参加必須
7/14(土)、15(日)本選・表彰式
- DEL説明会** 8月中 ※「DEL」については右のページ参照
- 受賞公演** ★**グランプリ** 2019/5/6(月)～12(日)
★**オーディエンス賞** 2019/4/19(金)～21(日)

応募方法

応募書類でご応募の場合

- ①規定応募用紙(劇場HPよりダウンロード可)
- ②最新上演作品全編収録DVD3枚

以上2点を持参または郵送(3月2日(金)必着・持参の場合19:00まで)

応募フォームでご応募の場合

- ①応募フォームに必要事項記入の上応募
- ②最新上演作品全編収録DVD3枚を持参または郵送(3月2日(金)必着・持参の場合19:00まで)

○応募用紙、DVDはご返却いたしません。

タッグを組んでパートナーに

1

「DEL」による アウトリーチ事業

調布市内の小中学校等
様々な場所で演劇プログラムを提供

▼

講師、講師助手として参加

2

演劇公演

せんがわ劇場が
プロデュースする演劇公演

▼

スタッフ(演出、劇作、振付、各種助手
など)、キャストとして参加

3

その他調布市内の イベント・地域連携事業など

▼

スタッフ、キャストとして参加

地域のみなさんへのアウトリーチ事業を行うために、せんがわ劇場が独自にはじめたシステムを「DEL」と呼んでいます。「DEL」はドラマ・エデュケーション・ラボ(Drama Education Labo)の略。演劇のワークショップを通じて、コミュニケーションの力や創造性を引き出し、普段の生活に役立てる事を目的としています。演劇コンクールのファイナリスト団体は、DELにご参加いただけます。

この先、
長く劇場と組んでいける団体をお待ちしています!

30名以上が参加中! (※2018年4月以降、運営開始予定)

👑

第8回せんがわ劇場演劇コンクール受賞公演

👑

■**グランプリ受賞公演**

スペースノットブランク
「ラブ・ダイアログ・ナウ」「ネイティブ」

- 演出：中澤陽
- 出演：小野彩加、古賀友樹、他
- 公演期間：2018年5月10日(木)～5月13日(日)

作品について

新作「ネイティブ」は、原生なる次元の生命体と多次元を往来する生命体が変わる小空間にて生活する人々の日々を、真理、他者性などの曖昧さと共に描き出すモキュメンタリーパフォーマンス作品です。そして「出会いについて」描いた「ラブ・ダイアログ・ナウ」を新たに創造し、その真価を自ら問い続けます。

作品に寄せて

第8回せんがわ劇場演劇コンクールにて、グランプリをいただいた「ラブ・ダイアログ・ナウ」をもっと作り込みたいと思っています。それだけでは物足りないので新たな作品「ネイティブ」も作ります。持続する舞台と通する舞台のどちらにもご期待ください。

■**オーディエンス賞受賞公演**

くちびるの会「逃げぬれて、夜」

- 作・演出：山本タカ
- 出演：橘花梨、佐藤修作、薄平広樹、堀晃大(チーム・ギンクラ)、森将和(MACHINE[D]THEM)、吉岡瞳、鈴真紀史(はえぎわ)
- 公演期間：2018年4月19日(木)～4月23日(月)

あらすじ

その女は、レジスターの前に追い詰められていた! 若さばかりをカゴに詰め込み、生活に監禁される生活、生活。閉店まぎわの半額シールは今日という日の廃棄の印。やっとなのこさでもぐり込むは万年床のせんべい布団。「だったらいいな」を日記にしたため、涙、涙でほくそ笑む! 逃げる!太陽が笑う前に!このずぶぬれの夜道を!

作品に寄せて

くちびるの会、約2年ぶりの新作長編は、ずぶぬれの逃亡劇! 京王線の区間急行とまる仙川で、待っていました本公演! いつもの面子に新たなメンバーも交え、地を這うファンタジー作品を上演します。

©Dan Åke Carlsson